

令和8年3月31日

放課後等デイサービス After School 風  
理事長 岩堀 秀明

## 放課後等デイサービス 自己評価表集計結果 報告書

日頃より After School 風の活動にご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。  
アンケートにご協力いただきましたご利用者の皆様、本当にありがとうございました。  
先に実施したアンケート調査について、下記の通り集計した結果を公表させていただきます。

### 1. 調査の目的

「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を作成し、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図るものとする。

### 2. 調査期間

令和8年3月13日～令和8年3月31日

### 3. 調査内容

- (1) 放課後等デイサービス After School 風（放課後等デイサービス）を主としてご利用中のご家庭 16 家庭
- (2) 放課後等デイサービス After School 風（放課後等デイサービス）に従事する児童発達支援管理責任者 1 名、保育士 3 名、児童指導員 2 名、計 6 名

### 4. 調査方法

- (1) 保護者の方に送迎時、郵送等にて調査票（保護者向け）を配布、無記名で記入後回収。
- (2) 従事者 6 名に調査票（事業者向け）を配布、無記名回収。

### 5. 回収状況

回収数（保護者向け 16 票、事業者向け 6 票）

## 6. 保護者様からのアンケート結果について

### 【環境・体制整備】

今年度より開所した当事業所において、児童生徒、保護者の方々にご協力をいただきながら活動範囲を広げる工夫を行い、課外活動や様々な経験を通して、対人関係・コミュニケーションスキル・社会性・自己コントロール等の獲得を目指した環境を提供し、そのための体制整備と関係機関との連携を行い、一人一人の成長をサポートできるよう専門性を高めるとともに保護者の方との連携を大切にしてきました。

今後も環境・体制整備について検討を行い、チャレンジできる活動の場や機会を計画し工夫をしていきたいと思えます。

### 【適切な支援の提供】

児童生徒と保護者にニーズや課題に対して細やかな対応ができるよう、適切な支援の提供を行うとともに、総合的な適切な支援につなげていくための計画・実施・評価・改善の工夫と対応を行い、環境の変化にも配慮したプログラムの提供をしていきたいと思えます。

当事業所以外の子どもと関わる機会を広げる活動として、長期休暇の際等に保育所にて、お兄さん・お姉さん先生として絵本の読み聞かせ等の体験、行事や日々の活動を通して事業所外の子どもや関わりを深めていけるよう計画していきたいと思えます。活動の場をさらに広げ、様々な人とでの出会いの中で自分を必要としてくれる経験から自己肯定感を高めていくとともに社会性を培っていけるよう支援していきます。

### 【保護者への説明等】

連絡帳やお便りを通して活動の様子等を伝えるとともに行事写真の掲示によって保護者の方がイメージを持てるよう発信しています。

学校での様子を担任から聞き取り、伝えることによって学校生活も安心して送れるよう家庭・学校・連携機関、放課後等デイサービスとの連携を行っています。

児童生徒・保護者の悩みに対して個人情報厳守し面談を行い不安が少しでも軽減できるよう配慮しています。ふたばの会、にじいろの会を行い、児童生徒、保護者の方々との交流会や情報提供、講師を招き勉強会の開催を計画しています。

### 【非常時の対応】

非常時の訓練を行うことで、大切な命を守るためのスキルが身に付けられるよう実施しています。

訓練等を行った際の報告を写真の掲示等でもお伝えできるよう努めています。

保護者の方々にもより分かりやすくお伝えして、安心していただくために周知していけるよう工夫に努めます。

## 7. アンケート結果について（まとめ）

アンケート対象について、当事業所をご利用中の保護者様、また従事している職員に対して調査を実施しました。保護者様よりいただいたご意見を励みに、より一層の支援の向上・提供に努めてまいります。

児童生徒にとっても、保護者にとっても、その家族にとってもつながりあい支え合える居場所となるよう努めていきたいと考えています。活動の場を広げるとともに、さまざまな経験やチャレンジができるよう、支援の工夫を行っていきます。

児童生徒を中心に家庭・学校・地域・専門機関が手を取り合い情報を共有することで支援が分散しないよう努めていきます。

職員間の自己評価においては、事業所内調査を行い、保護者の方々からのアンケートの意向等を把握し業務改善につなげて行きます。支援の質の向上、活動範囲を広げ、活動プログラムの工夫を行い、支援方法等、児童生徒がともに育ちあえるように、途切れない支援のために、職員同士の連携と、支援の質の向上のために専門機関と連携し、法人内外において研修へ積極的に参加し研鑽を積んでいけるよう努めてまいります。今後ともご理解ご協力をお願い致します。